



主題歌

「Love Sick」
アイナ・ジ・エンド (avex trax)



映画公式サイト



映画公式X



豪華絢爛な大奥に渦巻く情念。薬売りが秘された真実に辿り着く時、退魔と救済の儀が始まる——。

解き放つ。

劇場版

老唐傘

黒沢ヒロ、松木碧、花澤香菜、小山茉美
戸松遥、日高陽子、甲斐田裕子、ゆかな
机裕貴、福山潤、細見大輔、入野自由、津川健次郎

主題歌: 「Love Sick」アイナ・ジ・エンド (avex trax)

7.26

皆々様の真と理、お聞かせ願いたく候

序説

「ナニモノか、より生じた抑えられぬ『情念』が『アヤカシ』と交わると『モノノ怪』となる。モノノ怪がひき起こす『怪異』が人々に襲いかかる時、謎の男『薬売り』が忽然と姿を現す。この世で唯一、モノノ怪を斬り祓うことができる『退魔の剣』を携え、荒れ狂うモノノ怪の前に一人立ちはだかる。2006年にフジテレビ「ノイタミナ」枠にて異例の高視聴率を記録した『怪~ayakashi~』の一編「化猫」から派生し、2007年にテレビアニメシリーズとして放送されて以来、根強く愛され続けている『モノノ怪』が、大奥を舞台に劇場版として『新生』する。豪華絢爛な世界を絵巻物のように描き、細部まで緻密に、時に大胆に表現した美術や、CGと和紙テクスチャを組み

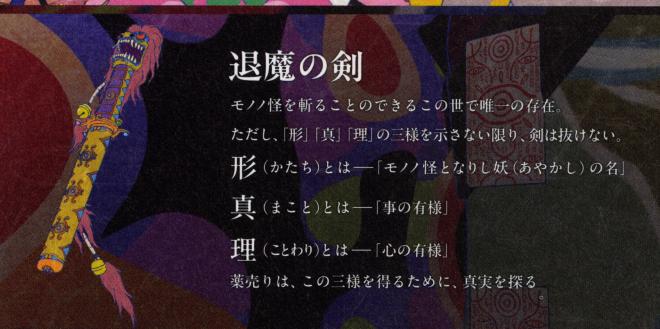
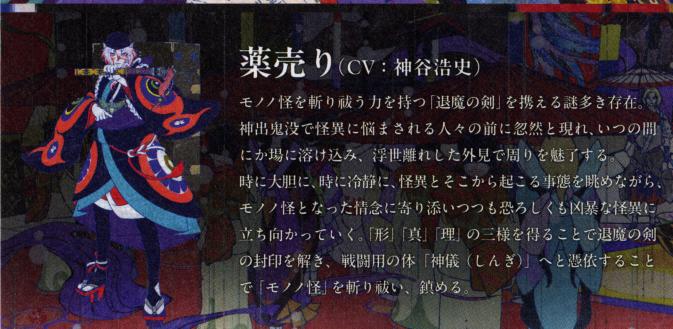
合わせた斬新な手法、膨大なカット数と独自の色遣いにより生み出される唯一無二の映像美など、薬売りのミステリアスな魅力と相まって、『密度』の濃い世界観に圧倒される。さらに、個を殺し集団に染まることを強いられる生き辛さ、という現代にも通じる普遍的なテーマ、人間の内面に渦巻く業と願いを描く物語が深い共感を呼ぶ。誰の心にもモノノ怪の種が根づきかねない混沌としたこの時代に、切なくも強く魂を揺さぶる『救済』の物語が立ち上がる。シリーズの生みの親である中村健治監督の元に集結した、豪華キャスト・スタッフによる完全新作の劇場映画が、新たな伝説を刻む。

物語

大奥とは、世を統べる天子様の世継ぎを産むために各地から美女・才女たちが集められた『女の園』。であると同時に、重要な官僚機構でもある特別な場所。独自の掟が敷かれた『社会』でもあるこの異質な空間に、新人女中のアサ(黒沢ともよ)とカメ(悠木碧)が足を踏み入れる。キャリアアップを図る才色兼備のアサ、憧れの大奥に居場所を求めるカメ。正反対の二人は初日から、大奥で信仰される『御水様』に「自分の大切なものを捧げる」という、集団に染まるための『儀式』に参加させられる。そこで起きた出来事をきっかけに、二人の間に縁が生まれてゆく。

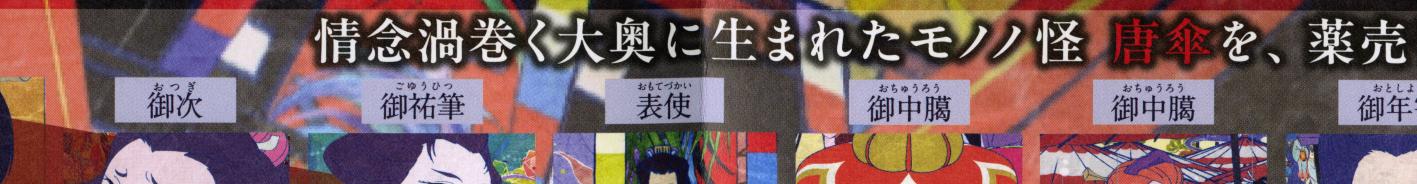
御年寄の歌山(小山茉美)は、大奥の繁栄と永続を第一に考え女中たち

をまとめあげるが、無表情な顔の裏に何かを隠している。そんな中、少しづつ、彼女たちを覆っていく『何か』。夜ごと蓄積されていく女たちの情念、どこからともなく響いてくる唐傘がカラカラと回るような異音、取り憑かれたように理性を失っていく女中…。ついに決定的な悲劇が起り、薬売り(神谷浩史)はモノノ怪を追って大奥の中心まで進むが、モノノ怪を斬り祓うことができる退魔の剣は『形』『真』『理』の三様が揃わなければ、封印を解き抜くことが叶わない。薬売りが大奥に隠された恐ろしくも切ない眞実に触れるとき、退魔と救済の儀が始まる――。



薬売り(CV: 神谷浩史)

モノノ怪を斬り祓う力を持つ『退魔の剣』を携える謎多き存在。神出鬼没で怪異に悩まされる人々の前に忽然と現れ、いつの間にか場に溶け込み、浮世離れした外見で周りを魅了する。時に大胆に、時に冷静に、怪異とそこから起る事態を眺めながら、モノノ怪となった情念に寄り添いつつも恐ろしくも凶暴な怪異に立ち向かっていく。『形』『真』『理』の三様を得ることで退魔の剣の封印を解き、戦闘用の体『神儀(しんぎ)』へと憑依することで『モノノ怪』を斬り祓い、鎮める。



情念渦巻く大奥に生まれたモノノ怪 唐傘を、薬売りが斬り、清め、鎮める――

新人女中

御三之間



アサ
(CV: 黒沢ともよ)

カメ
(CV: 悠木碧)

麦谷
(CV: ゆかな)

北川
(CV: 花澤香菜)

淡島
(CV: 甲斐田裕子)

時田フキ
(CV: 目笠陽子)

大友ボタン
(CV: 戸松遥)

歌山
(CV: 小山茉美)

三郎丸
(CV: 梶裕貴)

平基
(CV: 福山潤)